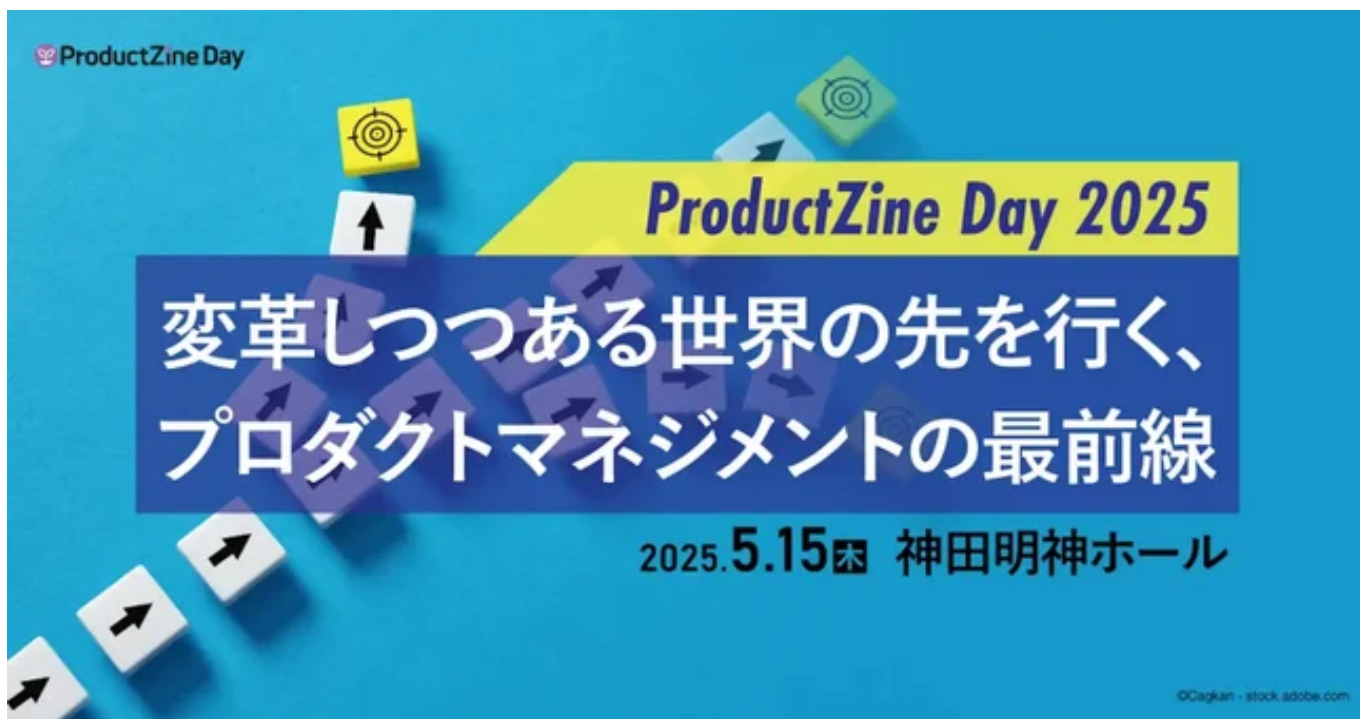


UPSIDER VPoP 森が、「ProductZine Day 2025」にてプロダクトマネージャーのAI活用について登壇

2025年5月15日(木)13:00～ | 株式会社翔泳社 ProductZine編集部主催イベント

株式会社UPSIDER（代表取締役：宮城徹・水野智規、本社：東京都港区、以下 当社）VPoPを務める森が、2025年5月15日(木)に神田明神ホールにて開催される「ProductZine Day 2025」に登壇することをお知らせいたします。



森は13:00～14:00に行われるセッション「生成AI天下一武闘会：この世で一番速い仕事術」に登壇いたします。モデレーターであるNewbee株式会社代表 / プロダクトマネージャーの蜂須賀 大貴氏、株式会社エクсплаザ 生成AIエバンジェリスト・リードAIプロデューサーの宮田 大督氏とともに、プロダクトマネージャーの日々の業務におけるAI活用についてお話しします。

[イベントページ](#)

[参加申し込み](#)

セッション詳細について

(※以下、[セッションページ](#)より引用)

生成AI天下一武闘会：この世で一番速い仕事術

- 日時：5月15日(木) 13:00～14:00
- モデレーター：蜂須賀 大貴氏 (Newbee株式会社 代表 / プロダクトマネージャー)
- スピーカー：宮田 大督氏 (株式会社エクсплаザ 生成AIエバンジェリスト・リードAIプロデューサー)、森 大祐 (株式会社UPSIDER VPoP)
- 概要
 - 生成AIの活用が広がる中、プロダクトマネージャーはどのように日々の業務や生活にAIを取り入れているのか。本セッションでは「個人の仕事」「チームでの仕事」「趣味・プライベート」の3つのテーマをもとに、PM業界きってのAI活用のプロ2名のユースケースを比較。さらに、その中から1つを選び、具体的な使い方を実演形式でご紹介します。AIによる業務変革のリアルを、実践知とともにお届けします。

※本セッションのタイトル、概要文は生成AIが作成しました。

[セッションページ](#)

登壇者について



<Newbee株式会社 代表 / プロダクトマネージャー 蜂須賀 大貴氏>

株式会社IMAGICA (現: IMAGICA Lab.) でエンジニアとしてキャリアをスタート。フリーランスPMとして複数企業の支援を経て、株式会社サイカにてプロダクト戦略の立案と実行をリードし、事業成長を牽引。その後、PIVOT株式会社にて、プロダクトマネージャー兼プロダクト組織の立ち上げを担当し、成長スタートアップ特有の課題解決やプロセス構築に携わる。現在は、2025年3月にNewbee株式会社を創業。テクノロジーメディア「Newbee」の運営、プロダクト支援、開発組織支援を行う。



＜株式会社エクスプラザ 生成AIエバンジェリスト・ リードAIプロデューサー 宮田 大督氏＞

株式会社エクスプラザで生成AIエバンジェリスト・リードAIプロデューサーを務める。生成AI技術の社会実装と普及に注力し、企業のAI導入支援やコミュニティ活動を推進。楽天やメルカリでのPdM経験を活かし、AIxPM領域での知見を発信。GaudiyではSNSエージェント実装や令和トラベルではノーコードツールでの大規模コンテンツ生成など、企画から実装までを手がける。



＜株式会社UPSIDER VPoP 森 大祐＞

新卒で株式会社ワークスアプリケーションズに入社後、会計システムを中心として、大手企業のERP、業務システムの開発をリード。いくつかのキャリアを経て、PKSHAグループにて複数のAI SaaSを立ち上げ、それらのプロダクト企画統括を務める。主に、自然言語処理を活用した、人とAIとの協働型プロダクトの企画を得意とし、国内大手コールセンターの自動化プロダクトや、職場コミュニケーションのチャット化・自動応答などで数多くの成果を収める。2023年に株式会社UPSIDER入社。VP of Productを務める。

ProductZine Day 2025について

(※以下、[イベントページ](#)より引用)

国内におけるプロダクトマネジメントの認知やプロダクトマネージャーの必要性は引き続き高まっており、特に経営や事業にインパクトをもたらす、シニアな人材に対する需要は顕著です。また、生成AIのビジネス活用も現場の水面下で着々と進められており、プロダクトづくりの在り方も大きく変わろうとしています。

開発や仮説検証のサイクルが迅速化していくなかで、「ユーザーへの提供価値」と「事業価値」の両立を追及するプロダクトマネージャーのような人材への期待は高まり、その働き方も従来の常識を覆すようなものになるかもしれません。場合によっては、プロダクトマネージャーという肩書きに関わらず、すべての人にプロダクトマネジメントの素養が求められることもあるでしょう。

本イベントでは、プロダクトマネージャーとしてのキャリアや育成、生成AIの活用などについて、コミュニティなどでの交流により、最前線の知見をお持ちの業界のキーパーソンの方々の協力を仰ぎつつ、

リアルで濃密な学び・情報交換の場を提供していきます。興味関心のある方は、ぜひご参加ください。

<イベント概要>

- 日 時：2025年5月15日(木)13:00～18:15（12:30受付開始／18:00最終受付）
- 懇親会 ※参加無料・抽選（18:45～19:45 予定）
- 場 所：神田明神ホール
- 参加費：無料（事前登録制）
- 主 催：株式会社翔泳社 ProductZine編集部
- 参加お申し込み：<https://event.shoeisha.jp/order/apply/428>（申し込み期限：2025年5月14日13:00）

株式会社UPSIDERについて

UPSIDERは、「挑戦者を支える世界的な金融プラットフォームを創る」をミッションに、利用限度額や会計処理などの財務課題を解決する法人カード「UPSIDER」を提供しており、累計決済額は4,500億円を突破しております(2024年9月時点)。決済だけではなく、決済前の利用先制限・上限設定・稟議申請など決済前の手続きから、決済後の利用履歴の即時管理画面反映、証憑回収・紐付け、稟議への紐付け、Slack連携による通知・証憑提出といった、一気通貫した幅広い機能が好評で、法人カードを安全に運用することが可能です。また、2023年9月には新たにAIチャット型業務ツール「UPSIDER Coworker」をリリース。SlackやMicrosoft Teamsなどのチャットツールと連携し、ほぼ全てのカード関連業務をAIと人が自動化します。ガバナンスやアカウントビリティーが重要な上場企業のお客様にとって、全社的な支出管理の厳格化、経費精算業務の簡略化、会計処理の早期化に繋がられます。

UPSIDER サービスページ

当社が提供するサービスについて

個人事業主・法人企業を対象とした「支払い.com」は、株式会社クレディセゾンと共同で運営しており、企業間の取引におけるあらゆる銀行振込のお支払いを、ユーザーがお持ちのクレジットカードで決済できるサービスです。お支払いをクレジットカードのお引落日まで延長することで、ユーザーは資金繰りの改善が可能となります。ユーザーは書類の提出や面談、審査は必要ありません。

支払い.com サービスページ

さらに、グロースステージ以降のベンチャー企業に対する融資を進めていくための子会社「株式会社UPSIDER Capital」を2023年5月に設立。2023年11月には、株式会社みずほフィナンシャルグループとの合併事業として、UPSIDER Capitalを運営会社とするスタートアップ向けデットファンド「UPSIDER BLUE DREAM Fund」の運営を発表しました。総額100億円となった第一弾ファンドでは、グロースステージのスタートアップ向けに、これまでにないデット調達環境を提供します。

詳細を見る

当社は、『成長企業を支援する法人カード「UPSIDER」を提供する会社』から、『世界で戦える日本企業を生み出し、日本の競争力を再び上げることを支援する、AI化された総合金融機関』へと進化してまいります。

UPSIDER

株式会社UPSIDER

- ・社名：株式会社 UPSIDER
- ・WEB：<https://corp.up-sider.com/>
- ・設立：2018年5月
- ・代表者：宮城 徹、水野 智規
- ・資本金：14,293百万円(資本準備金等含む) ※グループ連結
- ・本社所在地：東京都港区六本木 7-15-7
- ・加入協会・認定：一般社団法人日本資金決済業協会、セキュリティ認定 PCI DSS v3.2.1、JIIMA認証「電帳法スキャナ保存ソフト法的要件認証」「電子取引ソフト法的要件認証」、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証登録番号 IS 799150

本件に関するお問い合わせ先

ご導入のご相談や、取材申し込み、提携のご連絡は、pr@up-sider.com までご連絡ください。

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。

株式会社UPSIDERのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/76272